

国立精神・神経医療研究センターの変遷

時代の要請に応えるため、常に変化を遂げてきたNCNP。

これからも、病院と研究所が一体となった国立高度専門医療研究センターとして、進化し続けていきます。

NCNP 設立以前

病院

1940年 12月	傷痍軍人武蔵療養所として設立
1945年 12月	厚生省に移管、国立武蔵療養所として発足
1978年 1月	国立武蔵療養所神経センターを併設
1986年 10月	国立精神・神経センター設置により、同武蔵病院に改称

神経研究所

1978年 1月	国立武蔵療養所神経センターとして設立
1986年 10月	国立精神・神経センター設置により、神経研究所に改称

精神保健研究所

1952年 1月	国立精神衛生研究所として設立
1960年 10月	精神薄弱部発足
1965年 7月	社会復帰部発足
1973年 7月	老人精神衛生部発足
1986年 10月	国立精神・神経センター設置により、精神保健研究所に改称 精神保健計画部、薬物依存研究部発足

NCNP 設立後

1986年 10月	国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合し、国立精神・神経センターを設置
1987年 4月	国立国府台病院が、国立精神・神経センターに加わる
1987年 10月	神経研究所に遺伝子工学研究部発足 精神保健研究所に心身医学研究部発足
1999年 4月	精神保健研究所の精神薄弱部を知的障害部に改称
2000年 4月	神経研究所に遺伝子疾患治療研究部発足
2003年 10月	精神保健研究所に司法精神医学研究部発足
2005年 3月	精神保健研究所が小平地区へ移転
2005年 7月	全国で初の医療観察法病棟（8病棟）を設置
2006年 10月	精神保健研究所に自殺予防総合対策センターを設置
2008年 4月	国府台病院は国立国際医療センターへ組織移管 武蔵病院は国立精神・神経センター病院に改称
2008年 10月	トランスレーショナル・メディカルセンター（TMC）を設置
2010年 4月	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター設立 センターとして2つ目の医療観察法病棟（9病棟）を設置

2010年 9月	センター新病院竣工
2011年 4月	脳病態統合イメージングセンター（IBIC®）を設置 認知行動療法センターを設置
2011年 12月	精神保健研究所に災害時こころの情報支援センターを設置
2014年 7月	教育研修棟竣工
2015年 4月	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センターとなる メディカル・ゲノムセンター（MGC）を設置
2015年 5月	訪問看護ステーションを設置
2016年 4月	病院に司法精神科臨床研究センターを設置 精神保健研究所に自殺総合対策推進センターを設置
2017年 10月	社会精神保健研究部が精神疾患病態研究部に改称
2018年 4月	精神保健研究所が組織改変
2020年 4月	自殺総合対策推進センターが別法人へ移行 国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部（JH）を設置



創設時の
傷痍軍人
武蔵療養所



1948年の
国立武蔵療養所

1938年

国府台陸軍病院が精神神経疾患対策のための特殊病院に指定される。戦後は国立国府台病院に改称。

1940年

傷痍軍人武蔵療養所

傷病兵の中の精神疾患患者を収容する施設として現在の東京都小平市に開所される。

1945年

国立武蔵療養所

1945年12月、国立武蔵療養所に改称され、女性を含む一般国民が入所可能となり、国立の精神科病院として再出発する。



創設時の国立精神衛生研究所

1952年

精神衛生法制定時（1950年）の国会附帯決議に基づき、千葉県市川市国府台に国立精神衛生研究所設置。

1978年

国立武蔵療養所神経センター

国立武蔵療養所の一機構として、国立武蔵療養所神経センターが発足する。



国立武蔵療養所神経センター



2008年の国立精神・神経センター

1987年

国立国府台病院が国立精神・神経センターに加わる（2008年4月に国立国際医療センターに組織移管）。

1986年

国立精神・神経センター

（武蔵病院、神経研究所、精神保健研究所）

国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合。それぞれ国立精神・神経センター武蔵病院、同神経研究所、同精神保健研究所と改称される。その後、2008年に武蔵病院が国立精神・神経センター病院と改称される。

2010年

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター

国立精神・神経医療研究センター病院、同神経研究所、同精神保健研究所に改称。



2011年の国立精神・神経医療研究センター

2015年

国立研究開発法人化

2020年

さらなる未来へ…